SECC (電気亜鉛めっき鋼板)

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)とは、鉄鋼に分類される金属の材料です。冷間圧延鋼板に電気亜鉛めっきを施した表面処理鋼板。均一で薄いめっき層により、溶接性・塗装性が良好。電子機器筐体、自動車部品に広く使用。

JIS SECC ・ ASTM A879 ・ EN EN 10152

最終更新：2026/10/30

7.85 g/cm³
比重（密度）

270 MPa
引張強さ

SPCC・SUS304との違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	SECC (電気亜鉛めっき鋼板) このページ	SPCC (冷間圧延鋼板)	SUS304
引張強さ	270 MPa	270 MPa	520 MPa
降伏強さ	—	—	205 MPa
線膨張係数	—	12 µm/m·K	17.3 µm/m·K
熱伝導率	—	—	16 W/m·K
密度	7.85 g/cm³	1.2 g/cm³	7.93 g/cm³
溶接性	excellent（スポット溶接に最適）	良い	良い
被削性	—	—	40 /100

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 均一で薄いめっき層
- 優れた溶接性（スポット溶接）
- 塗装密着性が良好
- プレス加工後も耐食性維持

- 外観が美しい

主な用途

- 電子機器筐体
- OA機器
- 自動車内板
- 家電製品
- 事務機器
- 配電盤・制御盤

選び方

溶接性と塗装性を重視する筐体・カバー類に最適。屋外使用で高耐食性が必要ならSGCC（溶融めっき）を検討。

メリット

- 優れた溶接性
- 塗装密着性良好
- 均一な外観
- プレス加工性良好
- SGCCより薄いめっきで軽量

デメリット

- SGCCより耐食性劣る
- 屋外長期使用には不向き
- めっき層が薄い
- コストはSPCCより高い

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

JIS G3313 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 などの公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

規格

JIS	**SECC**
ASTM	**A879**

EN	EN 10152

機械的性質

項目	値	条件
引張強さ	270 MPa	素地SPCCと同等
伸び	34 %	素地SPCCと同等
めっき目付量	10-40 g/m²	片面

物理的性質

密度	7.85 g/cm³
coating_thickness	1.4-5.6 µm

代替材料

目的に合わせて選べる、SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の代わりの候補です。

SGCC

高耐食性

溶融亜鉛めっき鋼板

代替時のメリット
めっき厚く耐食性優秀

代替時の注意点
溶接性・外観はSECCより劣る

SPCC

コスト重視

冷間圧延鋼板

代替時のメリット
最も安価

代替時の注意点
耐食性なし、塗装必須

SPCCを見る →

SUS304

最高耐食性

オーステナイト系ステンレス

代替時のメリット
めっき不要の耐食性

代替時の注意点
コストが約3倍

SUS304を見る →

加工・規制・注意

加工性

切削性	良好
成形性	優秀
溶接性	優秀（スポット溶接に最適）
加工上の注意	プレス加工性良好、スポット溶接に適する、塗装密着性良好、深絞り加工可能

規制適合

0 RoHS適合

1 ELV適合

出典・ご利用上の注意

- JIS G3313 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
- 日本鉄鋼連盟 技術資料

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の密度（比重）は？

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の密度（比重）は7.85 g/cm³です。

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の引張強さは？

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の引張強さは270 MPaです。

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の代替材料は？

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の代替材料には、SGCC（高耐食性）・SPCC（コスト重視）・SUS304（最高耐食性）があります。

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)の主な用途は？

SECC (電気亜鉛めっき鋼板)は、電子機器筐体、OA機器、自動車内板などに使われます。